

社会資本総合整備計画 中間評価書

令和07年03月31日

計画の名称	大山崎町における安全・安心な下水道整備（防災・安全）													
計画の期間	令和04年度～令和08年度（5年間）								重点配分対象の該当					
交付対象	大山崎町													
計画の目標	全体的に老朽化の進行する下水道施設の計画的な維持管理と改築を行い道路陥没事故や機能不全等を未然に防止することにより、安全で安心な下水道サービスを提供する。													
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）		978	A	978	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		令和4年度当初	令和6年度末	令和8年度末
1	ストックマネジメント計画に基づく改築の実施によりライフサイクルコストを1.6億円/年削減する。 ライフサイクルコストを標準対応年数での事業費年当たり平均事業費3.6億円をストックマネジメント計画により年平均2億円とし年平均1.6億円削減する。 (標準対応年数での年平均事業費3.6億円 - スtockマネジメント計画5年間の平均事業費実績) / 1.6億円	0%	100%	100%
2	管路・マンホール調査進捗率を40.8%（令和4年度）から100%（令和5年度）とする。 管路・マンホール調査路線（19.5km）の進捗率 調査完了管路延長 / 調査対象管路延長（19.5km）	40%	100%	100%

備考等	個別施設計画を含む	<input type="radio"/>	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
大山崎町下水道ストックマネジメント計画												



中間評価

中間評価の実施体制、実施時期	
中間評価の実施体制	中間評価の実施時期
ストックマネジメント計画における直近5年間の計画事業費の確認	令和7年4月
	公表の方法
	大山崎町ホームページにて公表
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	ストックマネジメント計画により、改築修繕の方法、時期、期間などが計画的に実施でき、ライフサイクルコストの縮減につながっている。 また、ストックマネジメント計画により管路・マンホール調査を計画的に調査することで、安全で安心できる下水道サービスの提供に寄与している。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	下水道管の点検情報等を発信することで安全性を広報でき、また上下水道施設への満足度の向上に寄与している。
特記事項（今後の方針等）	
引き続き、ストックマネジメント計画により改築計画や調査点検を進めることで、下水道施設の安全度、満足度の向上に努める。	

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	100%	
	中間 目標値	100%
	中間 実績値	88%
2	100%	
	中間 目標値	100%
	中間 実績値	100%
	100%	
	中間 目標値	
	中間 実績値	
	100%	
	中間 目標値	
	中間 実績値	
	100%	
	中間 目標値	
	中間 実績値	

直近5年間におけるライフサイクルコストにおいて、ポンプ場などの分割できない大規模改修が計画されたため